

## ( 第 3 学 年                      音 楽 科 )

教科のねらい  
 生徒ひとりひとりが生き生きと主体的に授業に参加できるよう、表現及び鑑賞の活動を通じて、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにして音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

3年における目標

①音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。

②多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。

③多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

使用教材	教科書・・・「中学生の音楽2・3下」 「中学生の器楽」 教材・・・合唱曲集「翼をください」 合唱用プリント 鑑賞用プリント ファイル	持ち物	左記の物 及び筆記用具
学習の すすめ方	学習に対するワンポイントアドバイス ○音楽の授業は週1時間（1年生は1.5時間）です。忘れ物に気を付け、素直な心でいろいろな課題に授業の中で集中して取り組みましょう。 ○歌唱は恥ずかしがらず、大きな口、大きな声で伸び伸び歌えるようにしましょう。 ○美しいものを美しいと感じたり、感動したりする気持ちが大切です。 ○ピアノを習っていたり、以前から様々な音楽に関わっていると、楽譜を読む力や演奏にとりかかりやすいということがあります。しかし、中学校の授業の音楽活動の中で、どのように自分を表現し、取り組んでいるかが一番大切です。自分の持てる力を精一杯発揮して、一生懸命取り組めると良いでしょう。		
学習上の 注意等	音楽は自分を表現したり、人の表現を受け止めたりする教科です。恥ずかしがらず、そして人の表現する音楽に精一杯の拍手をおくれるようにしましょう。また、できないはともかくまずは、やってみようとする気持ちが大切です。あきらめず繰り返し練習することで、きっと何かヒントになるものが得られるはずです。特に2年生では、互いの響きや音程を感じあいながら合唱に取り組めると良いでしょう。		

## ☆学習内容および評価について

学習計画				評価にあたって		
学	月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法	
1	4	曲の感じに合った歌い方や発音を工夫しよう。 「花」	期末歌唱	ア 音楽への関心・意欲・態度  音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	・授業準備・授業態度 ・実技テスト ・定期テスト	
	5	日本の伝統楽器に親しもう 「箏」				
6	交響詩に親しもう 連作交響詩「我が祖国」より ブルタバ（モルダウ）	イ 音楽表現の創意工夫  音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図を持っている。		・授業での観察 ・実技テスト		
7	曲の感じに合った歌い方や発音を工夫しよう。 「君に会えたことに」 校内合唱コンクールの取り組み開始・選曲等					
2	9	日本の伝統音楽に親しもう 「雅楽」 「能」等		期末歌唱	ウ 音楽表現の技能  創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	・授業での観察 ・実技テスト
	10	混声合唱の豊かな響きを楽しもう 校内合唱コンクールに向けての取り組み 「自由曲」				
	11 12	合唱曲 卒業式の歌取り組み				
3	1	卒業式の歌 校歌	学年末歌唱	エ 鑑賞の能力  音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・授業での観察 ・学習プリント ・定期テスト	
	2	君が代 流れ行く雲を見つめて				
	3					